

劇でつたえる 保育シリーズ 年少 7月

# きまりは守ろうね

第一話 「プールだー!(水遊びだー!)」

第二話 「ぼく、鬼やらない」

(上演時間 約15分)

作・清田明世

## ● 登場人物

まさる (年少) ちよつと引つ込み思案な男の子。  
ゆうき (年少) まつすぐな性格の男の子。  
げんたろう (年少) 面白いことが好きな男の子。何でもリズムや歌にする。  
ちほ (年少) ちよつとおませな、先進的な女の子。  
さとみ (年少) 後ずさり気味だが、優しい女の子。  
ナレーター 先生役

## ● 今月のテーマについて

同じ年頃の友だちと共に過「す」集団生活」を分かり始めた年少の子どもたち。一斉保育や遊びを通して、みんなで一緒に何かをする、ということも経験しましたね。自分の思いのままに動く子どもたちも、徐々に、まとまる時にまとまれるようになってくる場面もあるかもしれません。季節は春から夏へ。園や友だちに慣れ、気持ちが開放的になり、身の回りのことを自分でしようとする行動が現れる反面、集団生活を送る上で守ってほしい「きまり」を身に付けたい時期でもあります。

**できごとをいっしょに。**

**やりたいこと。やりたくなくないこと。**

その姿を客観的に見ることで、子どもたちが、「ぼく・わたしに似てる」「ぼく・わたしもそう思う」と、気付いてくれるきっかけになれば嬉しく思います。

## ● 本シリーズの演じ方

本シリーズは、先生役であるナレーターが舞台袖に立ち、舞台上の演者(パネルシアターの場合はパネルの絵)に向かってコメントや指導をしていく演出になっています。観客である園児の反応を巻き込みながら、園児が共感をもって演者を見ることがポイントです。

身近なテーマを取り上げますので、実演形式で行う場合は、アドリブなどをきかせながら、普段の子どもたちの様子と重なるように気軽に演じていただけたらと思います。パネルシアター形式で行う場合は、事前に各園のルールに沿ったパネルの準備が必要となります。

げんたろう

次はゆうきくんが鬼。

ゆうき

ぼく、鬼イヤだ。

子どもたち

え？

げんたろう

だって、タッチされたじゃん。

ゆうき

鬼はやらない。

げんたろう

えー。

まさる

タッチされたら鬼になるのが、鬼ごっこだよ。

ゆうき

逃げる方がいい。

ちほ

また誰かをタッチすればいいじゃん。

ゆうき

ヤダ。

げんたろう

えー。

私も逃げる方が好きだけど、ちゃんと鬼もやったよ。

さとみ

タッチするのも、面白いよ。追いかけるのも。

ゆうき

イヤなものイヤ。

まさる

じゃあ、かくれんぼだったら、鬼するの？

ゆうき

しない。

子どもたち

え？

ゆうき

かくれる方がいい。

げんたろう

なんだそりゃー。

キッパリと

みんな、ポカンとした顔。

キッパリと

大げさに驚く

キッパリと

キッパリと

大げさに驚く

キッパリと

キッパリと

再び、ポカンとする。

キッパリと

大げさに(ひっくり返ったリ)オーバーリアクション